

光経済研究所株式会社

東京都中央区日本橋人形町 1-18-9 TEL 03 (3669) 2331(代)

証券投資顧問業登録関東財務局長第 557 号 日本証券投資顧問業協会会員 011-00557 号

2003 年 10 月 15 日号

ファンドマネージャー 出来岡 潔

<http://www.hikarikeizai.co.jp>

今回は、一目均衡表の先行スパン（雲）がクロスする所が変化日であるをご説明しました。（10月6日号のレポート参照）

前回もご説明しましたが、一目均衡表の理論における変化日は、大きく分けると3通りあります。

次に変化日として意識されているのが**基本数値**と呼ばれるものです。**重要な基本数値は全部で6つ!!!**

9・17・26・33・42・65です。他にも重要な数値がいくつかあるのですが、なかでも上記の6つが特に重要であるとお考え下さい。

これをどのように使うかについては、次回から詳しくご説明しますが、要は、**基本数値を重要な高値・安値に当てはめていく**のです…

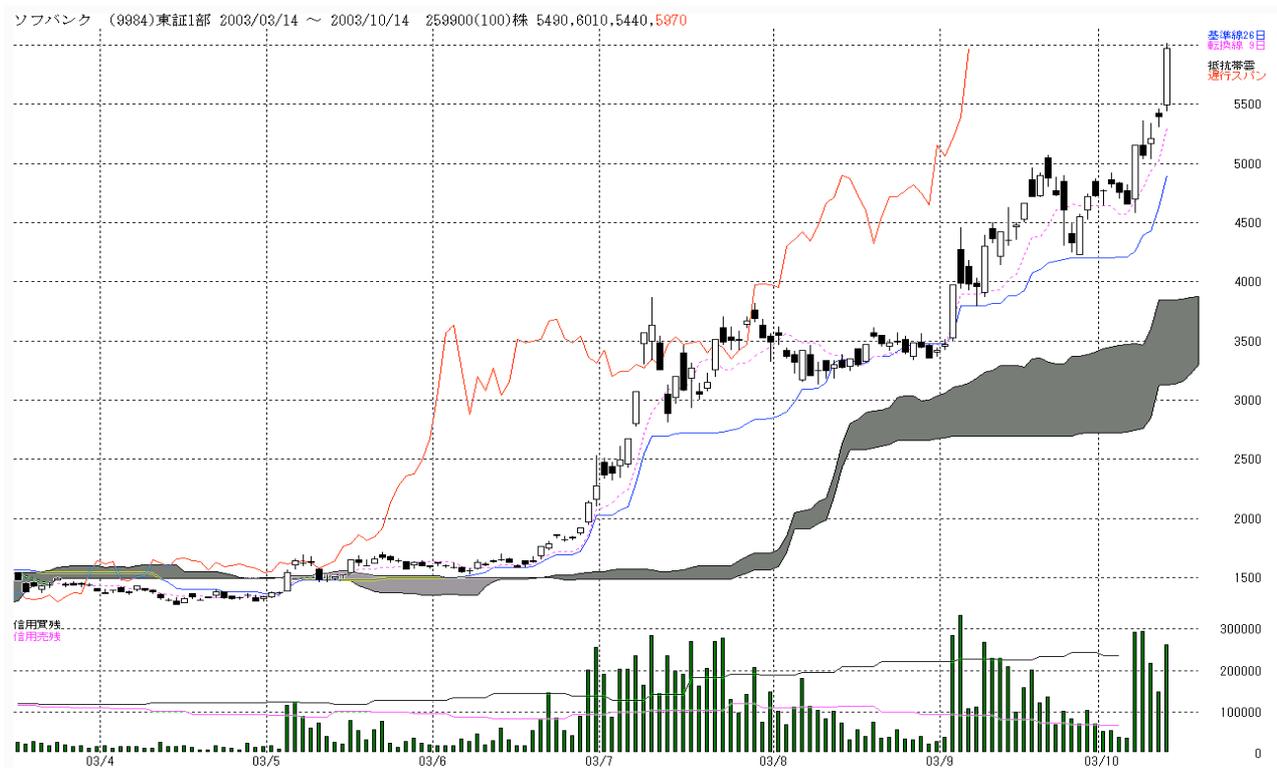
その前に、6つの**基本数値は互いに関連を持っている**ことをご理解下さい。

9と**17**を足せば**26**になります。**17**に**17**を足して1を引くと**33**。なぜ1を引くのかというと、たとえば安値から高値までの日柄が**17**日で、その高値から次の高値までの日柄が**17**日とします。ということは高値のところを2度数えることになりしますので1を引くわけです。同様に、**17**に**26**を足して1を引くと**42**。**33**に**33**を足して1を引くと**65**であるわけです。 次回に続きます。

この件に関するお問い合わせは 03-3669-5022 入会ご希望の方は dekioka@hikarikeizai.co.jp

毎日更新、旬な銘柄を選んで分かりやすく解説する、**無料テレフォンサービスの「人気株情報」** 03-3669-5552 で放送中、是非お聞きください。

《ソフトバンク》日足



Alpha Chart 社製